

第32号
2012年3月9日
尾張旭市立東中学校
この通信は、2年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。
<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>
編集: 深谷勇子

2年生を導く
「まじろのり」頑張ったね。

製作に当たったの思い、今年度の美術部の共同製作はアーチとフラワーアーチ、BOXランプです。テーマは「夢」と「色」です。まず、ランプには「自分の色を大切に、失わないように、花を咲かせてほしい」という思いが込められています。そして、アーチは「その新しい一歩へのスタートライン」です。夢に向かって羽ばたいてほしい、という思いで製作しました。



美術部製作

生徒会が中心となつて、1・2年生で折った鶴を組み合わせて製作したものです。☆1年生の歌を聴いて、とても上手だと思えました。自分たちの番になって少し緊張したけど、無事に終了してよかったです。3年生の先生たちのビデオレターや大喜利を見て楽しかったです。3年生の歌を最後に聴いてやっぱり3年生はすごいと思えました。

若杉 拓哉さん

鮮やかな色の花びらいっぱいアーチでしたね。

美術部部长 伊藤衣穂さん
副部长 伊藤瞳さん



☆室長会で決めたライトパフォーマンスがうまくいったよかったです。岩崎 拓未さん ☆リハーサルは全然ライトのやり方がわからなくて、「本当に大丈夫かな？」とちよつと心配があった。本番、暗くなつて始まったときの3年生の反応を見て「よかった」と安心した。柴田 真由さん ☆2年生の学年発表で、ライトを失敗したけど、ライトをつけたときに3年生の皆さんが「わあ〜」と言ってくれたのでよかった。有志発表はすごく緊張したけど

「歩いて行こうよ...」



学年合唱の様子

楽しかった。先輩たちが喜んでくれたのでよかった。木村 愛里さん
何度も残つて話し合い準備をしてくれた室長さんたち、ありがとうございました。



2年通信

第33号
2012年3月12日

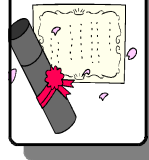
尾張旭市立東中学校

この通信は、2年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。

<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>

編集：深谷勇子

卒業式！
「付っしてほれない」、来年は私たち



今年は在校生代表として、2年生は第36回卒業証書授与式に参加しました。生徒の感想をいくつか紹介します。

☆卒業式はとても感動しました。3年生は、この3年間たくさんの思い出を作ることが出来たのかなと思いました。歌はあまり練習できなかつたけど、3年生に届いてほしいと思いました。
伊藤 優祐菜さん

奏田 菜月さん
伴森



☆今日は3年生がとても大人っぽく見えて、すごく感

動的でした。私も来年この時期に卒業なんだなーと思いました。

寺本ゆき乃さん
☆3年生が真剣に歌っているのを見て、ちゃんとやらなきゃと思った。3年生の歌はすごいと思った。

長尾 峻矢さん
☆小学校の卒業式とはまったく違って、すごくすばらしいなと思いました。歌はうまく歌えたかどうかかわらないけど、来年は自分たちの番なので、今年の卒業式よりもよいものにしてほしいなと思いました。

比嘉 雪乃さん
☆先輩の「別れの言葉」の時、部活の時とかに遊んだことを思い出しました。

井上 瀬梨奈さん
☆卒業式は、中学校の中で一番大切な行事だということとを改めて感じた日だった。それと同時に「次に私たちが

東中を引っ張っていくんだ。」という気持ちになった。
松下 秋花さん
☆練習の時より歌をうまく歌えたのでよかった。一番前の列に座って緊張したけど、3年生の歌を聴いて感動した。

山田 奈苗さん



指揮 長田 陽葉里さん

☆卒業式に泣いていた3年生が半分ぐらいいました。私たちも3年生になって、こんな風にいい思い出を作って、楽しく学校生活を送って、最後は泣くんだろうなと思いました。

黒田 美咲さん

☆卒業式は3年生を送る会と比べものにならないくらい緊張した雰囲気でした。先輩のために準備した甲斐があつたなあと思いました。

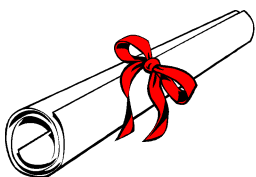
三根 誠也さん

☆3年生の起立などがそろっていてさすがだなと思った。歌では男子の声もよく聞こえて、本当に鳥肌が立った。来年自分たちが歌う曲はわからないけど、3年生みたいに感動させられるように歌いたい。

山本 大介さん

☆卒業していく先輩たちの姿が少し大きく見えた。3年間、世話になった学校を去る気持ちが卒業式で感じられた。来年は自分たちも先輩と同じ立場に立つので、先の方や友達、先輩に感謝できるようにになりたい。

市地 珠緒さん



伊藤綾香さんが在校生の代表として「送辞」を読んでもくれました。とてもしみじみと上手に読んでくれましたね。

贈る言葉

今年の冬は寒さが一段と厳しかったせいか、この別れの日の春の日差しが、柔らかく優しく感じられます。卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

小学校の頃、私たちは先輩方が着ていた東中学校の制服姿に憧れました。小学校の頃は、親しく友達のように話をしていた一つ上のお兄さん・お姉さんが、東中学校の制服に身を包み、スクールバックを持つと、大人っぽく輝いて見えたことを今でもはつきりと覚えています。



さて、私たちが、先輩方と一番触れあうことができたのは放課後の部活動です。私は卓球部に所属しています。先輩方はラケットの持ち方から変化球の打ち方まで、細かく丁寧に教えていただきました。初めての大会で、私が緊張していたときに、「大丈夫だよ。普段通りにやればいいから。」と、肩をたたいて励ましてくださいました。そんな先輩方の優しさ、心の広さを今でも忘れません。他の部活動においても同じ事が言えるのではないのでしょうか。時には厳しく、時には優しく先輩方に励まされていたいただいたときの感動や喜びは、私たちの宝物です。

今、私たちも、先輩方にしていただいたように後輩にしています。が、なかなかうまく行かないことのほうが多

いです。

もう一つ忘れられないのが、フェスティバルです。受験勉強などで時間が限られている中、一つのことにと没頭する熱意や仲間と力を合わせることの喜びを覚えていただきました。

体育祭では一致団結して競い合い、応援する先輩方はかつこよかったです。

合唱祭では、どのクラスも伴奏者・指揮者と一体になって素晴らしい、心を打たれました。

フェスティバルにおいて、先輩方一人一人が仲間のために頑張り「絆」を強めていくのを見て、「やっぱり、先輩方は違うな」と感じました。

3年生を中心に生徒会が行った「あいさつ運動」。朝、先輩方が笑顔

で迎えてくださいました。その度に「今日も頑張ろう。」という気持ちになりました。その他にもプルトップ、ゴミ拾い運動など、東中学校のためにたくさんの方を応援し、支えてくださいました。

私たちは先輩方から多くのことを学びました。そして、先輩方が残してくださった歴史と伝統を大切にし、次の後輩へと伝えていきたいと思えます。

これから先、もっと広い社会に旅立つと、辛いことや悩むことがあるでしょう。マラソンランナー、高橋尚子さんの「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」という言葉が私は大好きです。辛い苦しいときこそ東中魂と絆で下へ下へと根

を伸ばしてください。そして、「夢」という大きな花を咲かせてください。

最後に先輩方のご卒業を心からお祝いし、今後のご健康と、ご活躍をお祈りいたします。

平成24年3月8日

在校生代表 伊藤綾香



原稿書きから清書、放課後残ったの読みの練習、非穩当にご苦労様。そしてありがとう。

